

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 負担金用 )

## I 基本事項

		整理番号		465	
事業名	健康大学負担金	予 算 科 目	会計	一般会計・1	
担当部課名	健康福祉部 健康課		款	衛生費・4款	
電 話	0799 - 44 - 3004		項	保健衛生費・1項	
該当する項目について「 」を選択			目	保健衛生総務費・1目	
		団体負担金		事業負担金	

## II Plan&amp;Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事業の概要	事業目的	(団体の設立趣旨、活動目標など) 健康教育の普及向上を図るとともに、市民が自ら健康に関する知識を習得し、理解を深め、あわせて健康な生活態度をとるよう育成し、もって市民の健康、医療、並びに公衆衛生全般に効果の及ぶことを期待して開講している。		
	負担金の概要	経費を市が負担する理由(加盟理由、法令、又は市がすべきどのような事業を代わって実施しているのか) 健康大学は、南あわじ市医師会と市が共催する事業であり、市に事務局をおいている。事業内容は、保健・医療その他公衆衛生全般にかかわる講座を開設しており、市民が自ら健康に関する知識を習得し、健康に対する意識を高める事業となっている。		
	負担金算出方法(負担金全体の算出方法とそのうち本市の負担割合の決定方法)	市の負担割合	25.5%	
事業の決算の概要			平成21年度	
	事業経費 (千円)		1,734	
	報償費		470	
	需用費		196	
	役務費		111	
	使用料		4	
	繰越金		953	
	事業の財源内訳 (千円)		1,734	
	事業主体の自主財源		794	
負担金		940		
(上記負担金のうち本市の負担額)		240		
その他(負担金以外の国県補助金等)				
歳入のうち負担金の割合		54.2%		
負担金のうち本市の負担割合		25.5%		
事業に関する補足説明	(別途、当該団体・事業の規約又は会則等、平成21年度決算書、平成21年度事業報告書を添付すること。=決算書・事業報告書が作成されていない場合は、予算書・事業計画書でも可)			
	過去に事業費削減があった場合、その経緯	平成20年までは29万円であったが、24万円となった。		

### Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 事業が31年継続しており、受講生の高齢化・固定化傾向がある。 今回募集方法を改善し、広く医師会員の診療所窓口に募集用紙を置いたところ、新規受講生の大幅な増加と若返りにつながった。	自己評価 (5点評価)						
	4							
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 市民一人ひとりが健康に対する正しい知識を身に付け、健康的な生活を送ることに繋がれば、 医療費の削減効果も期待出来る。	自己評価 (5点評価)						
	4							
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 高齢化により、自分や家族の健康への関心は高くなっており、健康への正しい知識の普及・啓発は目に見える効果測定は困難であるが、重要な事項である。	<p>評価グラフ</p> <table border="1"><caption>評価グラフ</caption><thead><tr><th>項目</th><th>評価</th></tr></thead><tbody><tr><td>費用対効果</td><td>4</td></tr><tr><td>必要性</td><td>4</td></tr></tbody></table>	項目	評価	費用対効果	4	必要性	4
項目	評価							
費用対効果	4							
必要性	4							

## IV Action&amp;Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>現状維持としているが、実施状況を分析し、段階的に手法等を見直していく。            また受講者が高齢化・固定化傾向になりやすい為、幅広く講師を依頼し若者にも興味を持ってもらえるような講義内容を考えると固定化傾向も止められるのではないかと。</p>	同左。
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p><b>仮に</b>補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>現在健康知識を習得できる方法は、テレビ・新聞・雑誌などマスメディアやパソコンで手に入れることが出来るが、判断する基本的素養がなければ混乱を招きかねない。            健康大学は、身近な開業医による医学の基本的知識や、最新情報を提供しており、受講生の疑問等にも対応し、知識の整理が出来、基本的素養を深められるメリットがある。            又、医師会との共催の為、一方的に補助金を廃止する事は、他の事業での協力体制に影響を及ぼし兼ねない危険性をはらんでいる。</p>	